



謹賀新年



# 謹賀新年

計根別農業協同組合

信用事業担当理事	理事兼務参事	監事	監事	代表	理事	理事	理事	理事	理事	副組合長	代表理事組合長	
職	谷	佐	浮	安	影	須	本	北	石	柵	太	西
員	川	藤	中	齊	山	崎	田	村	毛	木	田	塚
一	好	良	喜	宏		芳				真		秀
同	則	文	佐	一	孝	智	明	篤	剛	喜	誠	夫



## 年頭ご挨拶



# 「年頭にあたって」

代表理事組合長 西塚秀夫

新年明けましておめでとうございます。  
組合員の皆様にはご家族共々、

ご健勝で平成二十六年の輝かしい  
新春を迎えられました事に心から  
お慶び申し上げます。

また、昨年中は農協の事業運営  
に対し、ご指導、ご協力、ご支援  
を賜りました事に心から感謝とお  
礼を申し上げます。

昨年は春の低温、夏の干ばつ、  
八月以降の長雨等の影響もあり、  
大変ご苦労のもとでの農作業を進  
められた一年でありました。

昨年暮れシンガポールで開かれ  
ていたT P P交渉の閣僚会合は、  
目標に掲げていた交渉の年内妥結  
を断念した訳ですが、政府は自ら  
の公約違反と国民世論をも裏切っ  
てT P P交渉への参加を強行した  
ことは誠に遺憾であり、国民への  
暴挙とも言わざるを得ません。参  
加前は「参加していないので情報  
が無い」と情報開示がなく、交渉  
参加後は「秘密保持契約により公  
表できない」とし、政府が交渉で  
何を主張したかも一切明らかにし

ないまま交渉が進められている事  
から、予断を許さない状況はまだ  
まだ続くものと思われれます。

デフレ脱却と日本経済再生を政  
策の柱に掲げたことから急激な円  
安誘導により、飼料価格や輸入原  
材料価格上昇となって跳ね返った  
昨年でもありました。その様な中、

昨年十二月十九日に決着した平成  
二十六年度の加工原料乳生産者補  
給金の単価は平成二十五年年度の一  
千三百円の確保があくまでも基本  
と訴えて参りました。平成二十五  
年度の三十銭分は単年度の支援と  
されていたことが大きな壁となっ  
ておりましたが、結果、十三円

二十五銭を確保出来たことは一応  
の評価が得られるものと思われま  
す。

一方、平成二十五年年度は加工原  
料乳の限度数量を大きく割り込む  
生産状況の中、平成二十六年年度  
の限度数量は一万トン減に留まりま  
した。補給金単価の上昇を何とし  
ても生乳生産量の増加に繋げ、パ  
ター、脱脂粉乳向けの販売量を確  
保することが我々生乳生産者の今

後の大きな課題となっております。  
また、継続が決まりました酪農へ  
ルパー対策も有効に活用して行く  
こととなります。

新たな酪農・乳業対策大綱の検  
証も自民党は決議をしましたが、  
飼料や資材の価格は、かつてと比  
べ高止まりとなっております。生産費

が嵩む経営環境に変化しておりま  
す。その様な中で限られた労働力  
を生かしながら将来基盤の構築を  
模索して行かなければなりません。  
地区別懇談会においても説明をし  
ましたが、計根別農協の五年後の

生産状況を予測しても大きな生乳  
生産量の確保は望めないことから、  
農協としても引き続き担い手対策  
を中心とした施策を講ずるとも  
に、農地の流動化対策を地域組合  
員の皆様と、各関係機関の力を得  
ながら推進して参ります。

昨年に横浜で開催されました  
ワールドデリーサミットは世界  
の酪農乳業者に日本の現況を発信  
する良い機会になったと思われま  
す。中国をはじめとするアジアの  
今後の経済発展が予想される中で

生乳の需要は更に拡大するとの予  
想も有る事から、決して悲観にな  
るのではなく明るい希望に向かっ  
て酪農経営を進めて頂きたいと思  
います。

東日本大震災、福島第一原発事  
故から一、〇〇〇日が経過しまし  
た。地域の復興に向け、努力され  
ている姿を私たちは忘れてはなり  
ません。

農事情勢をはじめ、社会全体が  
先行き不透明な状況が続くと思わ  
れますが、生産基盤の強化と組合  
員の経営安定を最優先に、地域農  
業の維持・発展に努めるとともに、  
一層の組合運営の健全化に向けて  
組合員皆様をはじめとして各関係  
機関のご理解を賜り、役職員一丸  
となり努力して参りますので、ご  
支援ご協力をお願い申し上げます。

今年一年の皆様のご健康と実り  
多き年となりますよう心からご祈  
念申し上げ新年のご挨拶とさせて  
いただきます。



# 平成二十六年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 会長 飛田 稔 章

組合員並びにJA役職員の皆様方には、希望に満ちた平成二十六年の新春を迎えられますことを心よりお慶び申し上げます。昨年の北海道農業は、天候不順により一部地域で農作業や生育の遅れが生じ、台風や大雨等の被害にも見舞われました。そのような中、各種課題を克服しながら、一年間の営農にご尽力されたことに対して、改めて敬意を表します。

平成二十五年は、国内外ともに、まさに激動の年でありました。TPP交渉につきましては、三月の交渉参加表明以降、交渉参加反対のもとで、関係機関・団体と連携をはかりながら、各種運動を展開致しました。かねてより懸念していたとおり、情報開示が極めて不十分な中、秘密裏に交渉が進行し、予断を許さない不透明な状況が続いておりますが、自民党並びに衆参農林水産委員会の決議を順守し、状況によっては脱退も辞さない覚悟のもと、それぞれの国の事情に十分配慮した対応がなされるよう、政府・与党への強力な働きかけと併せ、国民世論形成に向け粘り強い運動を展開していく必要があります。

過般、政府は我が国農政の柱のひとつである米政策を大きく転換し、それに伴い各種助成金体系や経営所得安定対策の見直し、日本型直接支払制度の創設等がなされました。短兵急な政策転換に対して、生産現場では不安と混乱が渦巻いておりますが、改めて生産現場における取組み状況を十分検証しながら、生産者が意欲と将来展望を持つて経営展開ができるよう、より実効性のある仕組みを確立していくことが重要であります。また、政府は成長戦略の実現に向けて、農業・JA改革を課題のひとつに取り上げ、産業競争力会議や規制改革会議等において関連する議論を行っております。これら規制改革の動きに関しては、農業の役割や生産現場の実態に関する基本的な認識が十分でないことによる原因があり、北海道のような農業専業地帯の実情やJAグループの取組み状況等を十分踏まえた議論がなされ、本道農業の持続的発展に資するような政策が確立されるよう、働きかけを強化していく必要があります。

平成二十四年十一月に開催した第二十七回JA北海道大会におい

て、「持続可能な北海道農業の実現」と「次代を担う協同の実践」について決議致しました。平成二十六年度は実践二年目にあたりますが、時代の変化を踏まえた中で、JAグループの組織・事業機能の充実強化に向けた自らの取組みを進めつつ、一般消費者に対する情報発信を行いながら、本道農業並びにJAの強力な応援団づくりを進めていくことが重要であります。

国内外の情勢がめまぐるしく変化している昨今であります。今一度足元を見つめ直し、生産者の方々をはじめJAグループ関係者の意志と知恵を結集した中で各種課題を乗り越えていくという強い信念と実行力が求められています。現在の地域農業やJAの基盤を築いた我々の先人も、その時々の時代背景のもとで、さまざまな困難に立ち向かってきたものと存じます。当然のことながら、JA・連合会も「組合員の営農と生活を守り向上させる」という目的を踏まえ、最大限の努力を傾注していかなくてはなりません。

の世界無形文化遺産に登録される見通しであるとの動きがありまして。我が国の食文化の素晴らしさが世界的にも認知されたわけですが、そのことは、素材である我が国の農畜産物が評価されたといっても過言ではなく、日本の食料供給基地である北海道の果たす役割も極めて大きなものがあると存じます。国民の命に直結する農業は、我々の先代が永きにわたり、労苦を惜しまず築き上げてきたものであり、その役割・重要性は将来にわたり、いささかも変わるものにはありません。農業は、国家百年の計に立った中で、将来にわたり引き継いでいくべき重要な産業であり文化であります。

今年の干支は、午年（うまじし）です。予断を許さない情勢が続いておりますが、馬のごとく力強く、また、さっそうと駆け抜けていく気概をもって頑張りましょう。結びになります。本年が天候に恵まれ実り多い年となりますよう、併せて、北海道農業並びにJAグループ北海道の一層の発展を心よりご祈念申し上げます。心よりご挨拶いたします。



# 「目指せ十万吨、二万頭」

参事 佐藤良文

皆様方におかれましてはそれぞ  
れの思いのなかにも健やかな新年  
を迎えられたことと拝察し、謹ん  
で新年のお慶びを申し上げます。

昨年暮れ、特定秘密保護法案が  
成立しましたが、農業界にとって  
最大の懸案事項でもあるTPP問  
題と共通した不安感を抱かざるを  
得ません。双方「情報の非開示」  
が原則であり「知る権利の断絶」  
であること、違いは、前者は「特  
定機密に指定された情報」が守秘  
であるが後者は「交渉内容自体が  
非公開」となっていること、更に  
食料安全保障も特定機密に指定し  
ともなれば貿易全体も機密情報化  
が危惧される。加えて前者は軍事  
的（戦争への）不安も強い訳だが  
後者は「経済的侵略戦争」と言っ  
ても過言ではない。何れにしても  
知る権利もさることながら国民の  
安全・安心が脅かされ、多くの国  
民が反対している或いは危惧して  
いるのを尻目に進められているこ  
とに憤りを覚える。

又、農地規制改革を柱とした農  
地中間管理機構法案も成立した。  
この法は特定の農業者と参入企業  
による「農業の成長産業化戦略」  
であり、これと並行して協議され  
ている産業競争力会議下の「農業  
分科会」、規制改革会議下の「農  
業ワーキンググループ」における  
農協の在り方検討、国家戦略特区  
ワーキンググループにおける農業  
委員会の在り方検討等も始まって  
おり、農協経営における信用・共  
済分離論も再度、組上ともなれば  
益々憂慮しなければならぬ事態  
となることから成り行きに注視し  
なければなりません。更に「農業の  
成長産業化戦略」海外市場戦略」  
は一見国民受けしそうですが広く  
国民に対する食料の安心安全供給  
内需を基本とした食料自給力向上  
の観点とも程遠く、何れも本来の  
農業者或いは農業団体等は会議体  
の構成委員には入っていないのも  
懸念に拍車をかけております。

さて、話題を地域に向けま  
す。十二月末現在の生乳生産戸数  
が、十二月末現在の生乳生産戸数  
一四九戸となり二十五年度に入っ  
て七戸減少（実際は十戸休止して  
三戸新規就農者に移譲）しまし  
た。勿論、平成に入ってから単年  
度の生産休止数としては最大であ  
りますが率にして四・五％（七〇  
一五六）の減少。よって今年度の  
生乳生産前年対比十一月末で三・  
六％の減少は、労力的に限界化し  
戸当たり生産量が伸び悩む現状  
では必然と捉えるしかない。戸当  
り面積も六五haを超え、自己完結  
では地域の土地を十分に活かし  
切れなくなることを視野に入れ、  
二十四年度からの第九次中期地域  
農業振興計画（平成二十四年～平  
成二十六年）の策定に当たっては、  
不耕作地発生未然防止を最大の  
テーマとして、地域内の分業体制  
を確立し地域の生産力を維持増進  
し活性化を図るべく事業展開に傾  
注するつもりでしたが遅々として進  
んでいないことに反省をしいま  
す。つきましては、年初から各地  
域（一部既に開催）に対して現状  
の生産基盤分析（一例を示します  
と、五十五歳以上の生産者の中  
で後継者のいない方が二十九人いま  
す）十年後一〇〇戸になることが  
想定）を提示しながら地区別農地  
利用集積推進会議を開催して、今  
後地域の価値（農地の経済的価値）  
の毀損を防ぐこと、地域の活力を  
維持増進するためには先代が切り  
開いた大地を活かし切り次代に繋  
ぐ使命感、これらを期し今後、地  
域をどのようにしていくのか、膝  
を交えての意見集約をしたいと考  
えております。勿論、答えは皆さ

んの思いの中にあると信じており  
ます。そのフレイズとして表題の  
十年後、生産者一二〇戸で「目指  
せ生乳生産十万吨、飼養乳牛頭  
数二万頭」を年始だからこそ掲げ  
させて頂きました、実現可能な夢  
と信じて。因みに現在の乳牛頭数  
約一万八千頭ですが、平成三年か  
ら平成四年に二万頭飼養されてい  
ました。

また、小さなことではありません  
が、昨年のカレンダーから地域に  
因んだ写真を！ということど  
くみました。体裁よく表現しま  
すと「目指せ！けねべつ十二景」と  
言うところ。組合員皆様の写  
真提供を大歓迎します。また「い  
いロケーション」情報でも宜しい  
です。徐々に皆さんでいいカレン  
ダーに仕上げて、「癒し」の部分で  
も盛り上げたいと思っております。

結びにあたりまして、今年こそ  
は天候をはじめ取り巻く環境が穏  
やかな一年であって欲しいと願  
いますとともに、組合員の皆様がご  
健勝で過ごされ一つでも喜びの多  
い年になることをご祈念申し上げ  
年頭の挨拶とさせていただきます。



# 滾る力を馬力に変えて

JA計根別青年部 部長 久保 拓伸

新年明けましておめでとうございませう。

組合員をはじめ、農協、各関係機関の皆様におかれましては、旧年中より青年部の活動に対し、多大なるご理解、ご協力を賜り、青年部を代表して心より感謝申し上げます。

また、青年部員の皆様におかれましては、日頃から青年部活動を盛り上げるべく奮起して頂いた事厚くお礼申し上げます。

昨年は、これまで青年部の中心的な事業である「お歳暮ギフト」に加え、地域の活性化を目的として二年前より準備をしてきた、計根別を舞台とした映画制作がいよいよスタートを切った年となりました。

年度当初に青年部内で立ち上げた地域活性化実行委員会により、吉本クリエイティブエージェンシーとの話し合いを重ね、映画制作の権利を獲得いたしました。その後、計根別のあらゆる組織にもご協力頂き、計根別

地域活性化実行委員会を設立し撮影にのぞみました。

何もかもが初めての経験で、大変な苦労もしましたが、得たものはそれ以上に大きかった企画でした。

私達の住む計根別の魅力とは何か？これほどに考えた事はなかったと思います。そして地域のつながりの大切さを強く感じました。青年部が中心となり、地域を盛り上げようと始めた事でしたが、実際は多くの人に支えられ、青年部の活動ができている事を改めて知るきっかけとなりました。

映画は現在進行形で制作中です。この企画を機に計根別の活性化につなげていけるよう今後様々な活動を展開していきたくと考えております。

「お歳暮ギフト」については、青年部お歳暮部会が中心となり、五月から着々と準備をして参りました。

本事業も九年目となり、毎年、

反省と改善を繰り返えし、昨年はお歳暮ギフトに同封しているレシピ集を女性部の協力のもと新メニューを追加。毎年受けとった方が喜ばれるものになるよう工夫をしました。

また、例年行っているアンケート調査の声を反映し、新たにアイスクリームのセットを加え、多数の注文を頂きました。全体でも九五〇セットを超える注文を頂き、無事にお届けすることができました。

九月下旬に作成したロール看板は「搾乳魂」の意志を引き継ぎ「搾らねば。」といたしました。TPPに揺れる社会情勢、離

農者の増、飼料燃料の高騰等、地域の存続をおびやかす事態が山積みの中で、どんな事が起きても揺るがない地盤作りと、この土地を守っていくという決意をメッセージの中に込めました。

昨年は長期にわたり続けてきた、新入部員歓迎会が新入部員がいなかった為について途切れ

てしまいました。

また部員の減少と、異常気象による収穫時期のずれ込みがもとで、別海産業祭でのジャンボハンバーグの販売を不参加するという苦渋の決断をいたしました。

代々青年部の先輩方が築き上げてきたものを続けられなかった事に対し、大変申しわけなく思っております。

しかしながら、今一度、青年部全体で知恵を出しあい、新しい体制作りをした上で、今までの以上の活発な活動を展開していきたいと思っております。

本年は、引き続き「地域貢献」を活動の柱に、今青年部としてできる事はなにか、一人一人の持っている力を青年部の馬力に変えて、充実した一年にして行きます。

結びになりますが、本年も青年部に対しましてご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。



## 年頭ご挨拶



# 二十五年を振り返って

J A 計根別女性部 部長 長谷川 希美

新年あけましておめでとうございませう。

組合員の皆様におかれましては、ご家族の皆様と輝かしい新年を迎えられたことと存じます。

昨年も女性部活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。心より感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと中々暖かくならず、農作業が思うように進まない何とも歯がゆい年でした。また、前年に続き、T P P 問題や生産資材の高騰、世間では景気回復などと言っていました。ただ、酪農家にはまだまだ厳しい状況の年でした。そのような中、私たち女性部では家庭に笑顔を中心にゆとりを持てるような、趣味を活かした活動をしてまいりました。春には、スプリングフェアの

協力で、『そば』『うどん』の他に『チーズスフレ』を提供しました。そして、一番草収穫の前には毎年好評を頂いております『お中元セット』の取りまとめ

を行い、更に十月には北見方面に研修旅行に行きました。『網走流氷硝子館』ここでは、各自で、ネットレスやブレスレット

作りなどを体験しました。そのほか『オホーツクバザール』『山の水族館』『ぶどう狩り』を行いました。ぶどうのシーズンが

始まったばかりで沢山なついで食べごたえがあり、お土産にも沢山取れました。そして、最後に『イオン北見店』で買い物

をし、とても充実した旅行となりました。また、地域活性化プロジェクトでは、映画撮影に対する炊き出しを行い役者やスタッフに振

る舞いました。四日間、お弁当や汁物など暖かいものにこだわって作り、みなさんにとっても喜ばれたと聞いて苦勞が報われました。

三層活動では、フレッシュミズ『お茶しませんか』、秋の共進会ではカレーライスを提供。また、青葉会では春の食事会、

秋は『新そば祭り』でそば粉を使ったミルククレープを作りました。緑会では、趣味や仲間作りなど充実した活動を行ってきまし

た。『秋の収穫祭』や女性部の一大イベントである『レディースフェスタ』など十月に入ってから、予定が詰まっております

が、部員や各関係機関の皆様のご理解と協力をいただきまして無事に計画通りに進む事ができ

ました。心より感謝申し上げます。

昨年は、全体的に女性ならではを發揮できた年だったと思います。今年も『お・も・て・な・

し』の心で女性らしい活動をしていけたらと思います。それと、まだ、入部されてない方！迷ってる方は、女性部に入

ってなくても参加できる行事がありますので、是非是非、体験入部してみてください。

最後になりましたが、皆様にとって稔り多き一年となります。事をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。





# 年頭のご挨拶

根室農業改良普及センター北根室支所 支所長 並川 幹 広

謹んで新年のお喜びを申し上げます。組合員の皆様におかれましては、輝かしい新年をご家族の皆様と伴に迎えられたことと存じ上げます。また、旧年中は農業改良普及センターの業務にご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。

昨年の気象経過と農作物の作柄を振り返りますと、春先は低温傾向が続き雪解けが遅く、一部では春耕が遅れた地域もありました。五月下旬から七月中旬までは比較的好天にも恵まれ、気温の高い傾向が続き、各作物とも順調に生育しました。一転、八月は曇天が続き、日照不足となり、それ以降も降雨が続き、収穫作業が遅れる結果となりました。しかし、いずれの作物も平年並みの収量が確保されました。また、生乳生産に目を向けると、ここ数年の暑熱による分娩時期のずれか、夏以降前年実績を下回る状況が続いており、今後の回復が待たれるところです。さて、酪農と酪農を取り巻く状況は、国政、世界経済とエネ

ルギー事情など様々な要因に左右されることから、新しい年を迎えてもなお、先行き不透明な情勢が続いています。昨年五月に安倍晋三首相はTPP交渉参加をひかえ、「強い農業」をつくり上げることが表明されています。生産から加工、流通までを担う「六次産業化」市場を、現在の一兆円から「十年間で十兆円に拡大したい」とし、農業・農村全体の所得を十年間で倍増させる目標を掲げています。TPPの交渉が進展する中、安倍首相の掲げる目標「強い農業」は具体的にどのような農業であれば良いのか、気になるところです。特に、当地域のような酪農地帯において農業、農村全体の所得を倍増する方策はどんな手法や姿であれば良いのか? 答えを見つけるのが難しく悩ましい感じがします。

故人となったコラムニストの天野祐吉さんは、朝日新聞の「CM天気予報」というコラムで、安倍首相フランス訪問時に発表した「強い国」となるための取

り組みについて共同声明したことを、次のように論評していました。「強い国」となるための手法が、原発の再稼働による経済力の増強、そして最先端の武器の保有であり、本当にこれらが必要なのか疑問である。そして、「強い国」ではなく「賢い国」になることが大切で、「賢い国」になるためには、お金は必要でなく、知恵と品性があれば良い。「賢い国」を目指すことが大切ではないかと…。

「強い国」とは少し意味合いは異なるかもしれませんが、「強い農業」という考え方も本当に的を射たものであるのか? 少し疑問に感じているところです。経済の論理だけで農業の有り様を論じるのは少し乱暴に思われますし、国の有りようと同じように農業も「強い」ではなく「賢い」を目指すことが、これから大切なように思えます。経済的に強いだけでは豊かな農村にもなりませんし、そこに暮らす人々の幸福感が本当に得られるのであるのか? そして幸福感は

多様であるとも言えます。常に変化し続ける農業を取り巻く情勢に順応しながら、地域に暮らす人々が幸せになるため、そこに暮らす人々自らが知恵を出し合い、新たな試みにも積極的に取り組んで行くことが、より重要になると思われれます。このような、地域が一体となる取り組みに、農業改良普及センターも関わりを持ち、皆さんの役に立てるような仕事が出来ればと考えているところです。

新たな年を迎え、昨年の出来事を反芻し、農業とそして地域がより豊かになるために大切な事はどんなことなのか? を考えるところにも、「賢い農業」の実践に向けて農業改良普及センターも、その一端を担えるよう職員一同気持ちを新たにしていると述べています。結びになりますが、本年も皆様方がご健勝で、JA計根別にとつて総り多い一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 全道JA青年部大会

十二月五日（木）、六日（金）の二日間、札幌市パークホテルで開催されました全道JA青年部大会に当部員五名で参加致しました。

当会は黒田会長の開会挨拶に始まり、『JA青年の主張大会』が開催されました。各発表者とても中身の濃い発表を魅せてくれました。その中でJAひがしかわ青年部の古高良記さんが最優秀賞を受賞致しました。

次に『JA青年部活動実績発表大会』開催され、根室管内よりJA中春別青年部（発表者：松井和孝さん）が代表となり発表致しました。素晴らしい活動内容と発表態度でしたが、残念ながら最優秀賞を逃し優秀賞の受賞となりました。なお、最優秀賞はJAながぬま青年部が受賞しました。

翌日には講演として『ホテル経営からみた農業経営』と題し、野口秀夫氏（野口観光株式会社代表取締役社長）より講演いただきました。酪農とは違った観点から講じていただき、興味深く聞かせていただきました。

今回、全道大会に参加して、色々な青年部の活動を知ることができ、自身の成長につながることも、部員間の結束にもつながる良い機会となりました。

《東部支部 伊藤 利文》



黒田会長の開会挨拶



青年の主張発表大会はそれぞれ熱い発表ばかりでした



JA中春別青年部松井さんの発表  
素晴らしい発表で優秀賞受賞！



青年部綱領朗唱



講師の野口秀夫氏

## ごあいさつ



九月二十四日からJA短期現地研修でお世話になっているJA北海道信連の小林です。

この度、十二月二十日をもちまして研修の最終日を迎えました。私の研修の目的は農協業務の体験を通じて「現場力を培う」ということでした。研修期間中は営農計画作成協議への参画や理事会の傍聴、さらには貯金等に係る訪問推進や家畜市場の視察までさせていただきまして、「農協業務の体験」を幅広く行えたのではないかと思います。

色々ご迷惑をかけたところも多々あったと思いますが、これまでなんとかやってこられたのは、ひとえに皆さんのお力添えがあったからこそだと思っております。

これからは信連の釧路支所に戻り融資関連の業務を行うこととなりますが、当研修で体験したことを生かし、JAの皆さんのご期待に添えるよう頑張っていきたいと思っております。

三ヶ月間という短い間でしたが、色々お世話になりました。本当にありがとうございます。

北海道信用農業協同組合連合会釧路支所

融資課 小林 政 久

# 管内JA海外酪農視察研修

営農部 営農支援課 生産技術係 吉田 和弘

## 視察行程

- 11/16 移動（釧路空港⇒羽田空港⇒成田空港⇒シドニー空港へ）
- 11/17 移動（シドニー空港⇒オークランド空港）
- 11/18 オークランド大学 クリステイーナ・ストリンガー博士による講演  
フォンテラ本社（オークランド）
- 11/19 フォンテラ工場（ハミルトン）  
フォンテラ加入生産者 2件（ハミルトン）
- 11/20 パイオニア加入生産者  
パイオニア社研究所（試験圃場）  
Gavins（コントラ会社）
- 11/21 市場流通調査（オークランド市内大型スーパーマーケット）  
移動（オークランド空港⇒シドニー空港）
- 11/22 フレミントンマーケット  
グレンモア農場  
エキシリー野菜農場
- 11/23 移動（シドニー空港⇒成田空港）
- 11/24 移動（成田空港⇒羽田空港⇒中標津空港）

平成二十五年十一月十六日（土）から二十四日（日）迄の九日間で実施されました『管内JA海外酪農視察研修』に参加し、ニュージーランド、オーストラリアの農業を視察致しましたので、ご報告致します。

## 十一月十八日

視察第一日目はオークランド大学とフォンテラ社本社を訪問し、NZ酪農について学びました。

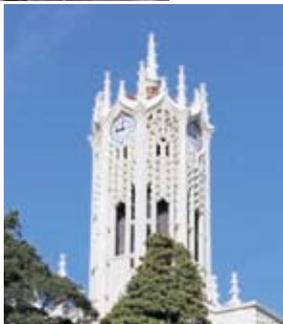
### オークランド大学

クリステイーナ・ストリンガー博士よりニュージーランド酪農やシェアミルキング制度について説明いただきました。



ストリンガー博士(中央)

オークランド大学ロビー



オークランド大学のシンボルの時計台

### フォンテラ本社

フォンテラ社の概要や戦略について説明いただきました。



世界一の乳製品会社  
フォンテラです



景色のきれいな会議室で…



ロビーには日本国旗も飾ってお出迎え。  
ありがとうございます!

**十一月十九日**

フォンテラ社の加工工場と加工生産者を訪問しました。

**フォンテラ社 加工工場**

ハミルトンにあるフォンテラ社の乳製品加工工場を視察致しました。

本工場では一日に三〇〇万ℓの生乳を受入れ、一五〇tの乳加工製品（主に粉ミルク）を製造しています。

**フォンテラ社 加入生産農家**

一）ウエイン・ルーシーファーム  
牧場概要

牧場設立：一九三七年（四代目）  
飼養状況：四五〇頭（搾乳頭数）  
草地面積：一五〇ha

年間出荷量：一七〇、〇〇〇kg  
（固形分：脂肪分+タンパク質）  
従業員：四名（一名は季節雇用）  
搾乳形態：ヘリンボーンスウィング  
パーラー 二回搾乳

二）マクレナン・フィンレイ  
ファーム

牧場概要

牧場設立：二〇一二年（経営開始から十八ヶ月）

飼養状況：五二〇頭（搾乳頭数）  
草地面積：一七七ha  
年間出荷量：二四〇、〇〇〇kg  
（固形分：脂肪分+タンパク質）  
従業員：五名（一名は朝の子牛管理のみ）  
搾乳形態：ロータリーパーラー  
四四ポイント

**十一月二十日**

この日は Genetic Technologies 社（種苗メーカーパイオニアの代理店）関連の生産者、試験場、コントラ会社の視察を行いました。

みんな仲良くお外で講義



右:ウエインさん  
中央:シェアシルカーさん  
左:フォンテラ担当者さん



ウエイン農場のパーラー  
NZは温暖で風が少なく壁なしパーラーは多いとのこと



フィンレイ夫妻

雄牛です



丁度搾乳の為に牛が…



ロータリーパーラー稼働中



また壁なしパーラー



雄牛…こわっ

発情です



### ノルディー・ラストファーム

#### 牧場概要

飼養状況…二〇〇頭（搾乳頭数）

草地面積…放牧地四八ha、飼料

用トウモロコシ四ha

※借地十二ha飼料用トウモロ

コシ

搾乳形態…ヘリンボーンスイ

ングパーラー



放牧地の草

ライグラス系とクローバーで  
根室管内とほぼ変わらない草種



パイオニア・メイヅリサーチス  
テーション  
パイオニア社製品（飼料用ト  
ウモロコシ）の試験場を視察し  
ました。  
新品種の試験・開発、セール  
スマンへのデモ・情報発信、競  
合他社の情報収集を行ってお  
り、約二四〇品種の比較試験を  
行っています。

### GAVINS 社

コントラクター業務、サイ  
レージ飼料販売、ゴートミルク  
（山羊乳）生産を行っています。

昨年よりゴートミルクの生産  
開始。今では二、三〇〇頭（搾  
乳一、六〇〇頭、育成七〇〇頭）  
を飼養しています。



ヤギ



ヤギ



ヤギ



ヤギ

サイレージ飼料販売では、三、  
五〇〇haの飼料用とうもろこし  
を栽培し、ホールクロップサイ



チューブサイロ



ロールサイロ

レージとして、七、〇〇〇〜一、  
〇〇〇t製造しています。ま  
た、コントラ部門では、飼料用  
とうもろこし作付・収穫作業を  
専門に請け負い三六台のトラク  
ターと専任作業所、専任エンジ  
ニアを有し、約四〇〇件の顧客  
があります。



十一月二十二日

フレミントンマーケット

大型の直売所です。約3haの建物が数棟あり、その中で野菜や果物、花卉等の生産物が売られています。

基本卸業者向けですが、一般の方も数人でまとまって買いに来るそうです。



野菜



果物



カラフルなバラ



花卉

グレンモア農場

牧場概要

飼養状況…二六〇頭（経産牛）  
草地面積…一六九ha

年間出荷量…一、八〇〇t

従業員…牧場主、妻、父、雇用

二名（フルタイム）

飼養形態…通年放牧

搾乳形態…ヘリンボーンパーラー

（十二頭×二）



パーラ室内



農場主のギャビンさん

エキシリー野菜農場

営農用地…二五エーカー

生産作物…ピーマン、ナス、ズツ

キーニ、とうもろこ



大型の冷蔵庫

シドニー市内



夜景



右がシドニータワー



ハーバーブリッジ



ごーかな船



オペラハウス

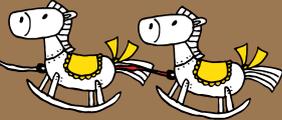


ハリの良いお姉さんたち

この素晴らしい視察研修に参加する機会を与えていただきました組合はじめ、役員の方々、日頃よりお世話になっております組合員の皆様に書面をお借りしてお礼申し上げます。



# 東部地区



組合員さんと職員のご家族の年男・年女の方に今年の抱負などを語っていただきました



勉強を頑張ります！

(中計根別)  
**葛西 誠人さん**  
(裕之さん)



剣道を頑張る!!

(若竹)  
**柵木 陸さん**  
(春美さん)



剣道を頑張る!!

(若竹)  
**鈴木 雄大さん**  
(直良さん)



サッカーを頑張る!!

(東西竹)  
**唐崎 春颯さん**  
(幸道さん)



体に気を付けて頑張りたい!

(若竹)  
**須藤 要さん**



宝くじが当たりますように!

(東西竹)  
**須崎加代子さん**



家内安全

(中計根別)  
**伊藤 利一さん**



野球を頑張りたい

**熊谷 知真さん**  
(昌仙さん)



元気で一年過ごしたい

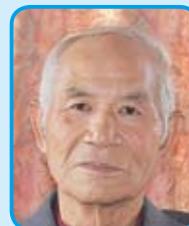
(中計根別)  
**喜来 信一さん・喜来一二三さん**

動けるうちはなるべく動きま



元気で1年過ごしたい!残り少ない人生を大いに楽しむ

(西竹)  
**深瀬 満義さん**



元気で魚釣りを頑張りたい!!

(新栄)  
**波田野 進さん**

石川さん痩せて下さい



(営農部)  
**渡邊 礼南さん・石川 将貴さん**

コーヒーやめます



(購買部)  
**河原 未来さん**  
(旧姓北川)

良い夫婦の日に結婚しました



(販売部)  
**星野 洋平さん**

嫁には酒は飲ませません!!



(購買部)  
**星野 有希さん**

飲んじゃう毛〜ん



午年だけに走ります

(販売部)  
**佐々木 完さん**



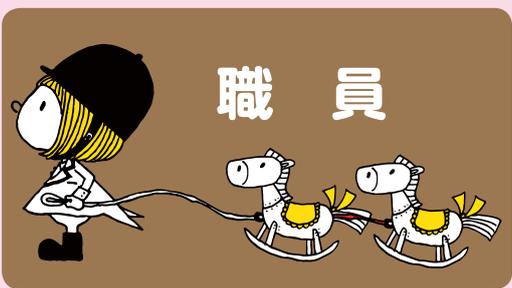
今年も油売ります??

(購買部)  
**太田 孝さん**



(総務部)  
**蛭崎 康夫さん**

今年はスーパーショット見せますよ!!



# 職員



(西上標津)  
**和泉 佳奈さん**  
(光広さん)

勉強を頑張りたい!!



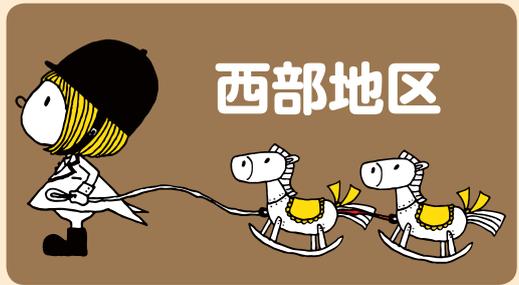
(旭新養老牛)  
**寺坂 允志さん**

エステイマのツライイチ極め  
ます??



(上標津)  
**坂地 郁恵さん**

健康第一!!



(上標津)  
**久保 拓伸さん**

嫁さんもうらやそー!!



(西上標津)  
**和泉 光広さん**

家族が健康で...



(旭新養老牛)  
**山下寿美恵さん**

一番良い年だったと思えるよ  
うに



(北養老牛)  
**太田 克彦さん**

元気になりました!!



(西養老牛)  
**倉田 勇さん**

平常心で...



(中本別)  
**松本 洸太さん**  
(貴志さん)

サッカーを頑張りたい!



(北養老牛)  
**下川原幸男さん**

安定した経営を...



(南養老牛)  
**影山 文雄さん**

まだまだ現役で!!



(西養老牛)  
**百崎 重夫さん**

八度目の午年を迎える今日の  
喜び



(北養老牛)  
**下川原ヒサさん**

まだまだ長生きします!



(大成)  
**砂越 瑠李さん**  
(健一さん)

中学では陸上を頑張りたい!



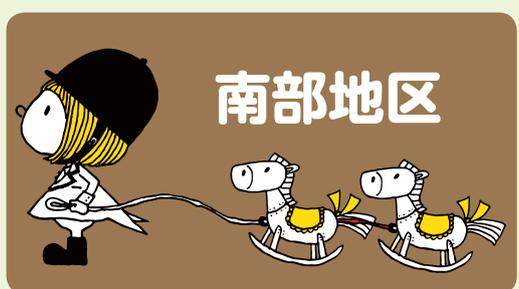
(酪進)  
**斉藤 祥平さん**  
(剛士さん)

サッカーを頑張る!!



(酪進)  
**二瓶 健一さん**

無事故無違反で!!



(中本別)  
**安斉 春香さん・安斉 悟さん**

家族が健康で!「二人目どう  
する?うくんバカ...♡」



(共進)  
**河本慎太郎さん**

もう一歩前進したい!!



(南本別)  
**佐藤 真さん**

搾らねば!!



(南本別)  
**林 満治さん**

この笑顔は作り笑顔ですか?



(中本別)  
**中村みのりさん**

風邪をひかないように頑張る



(大成)  
**三瓶 留夫さん**

健康第一!  
あと10年は頑張る!!



(酪進)  
**近藤 敏子さん**

夢を叶える



(酪進)  
**村上エネ子さん**

今年も笑顔で...



(中本別)  
**稲垣 英輔さん**

一日一日を大切に!

# 管外視察研修

## 東部地区同志会

十一月十五日、十六日、東部地区同志会は札幌方面にて管外視察を行いました。

最初に、江別市 有限会社 小林牧場を視察させて頂きました。小林牧場は二〇一三北海道ホルスタインナショナルショウで第七部にて一等賞一席を獲得したローマンヒル ビューティプリピュア号を飼養しており、また「小林牧場物語」というシリーズで牛乳やチーズなど販売し、多角的な経営を行っています。小林さんより、各施設（搾乳舎、フリーストール、バイオガスプラントなど）を回りながら紹介され、飼養管理や今後の経営方針などいろんな事を話し、会員に良い刺激となりました。尚、小林牧場については別な日程で大成・本別酪農同志会も合同で視察を行っています。



小林牧場 搾乳舎  
(パラレル20W  
地下ピットあり)

次に、北広島市 岩田 政彦牧場を視察させて頂きました。岩田牧場は二〇一三北海道ホルスタインナショナルショウで第六部 T M F ブラックス ジューエル ブルツクリン号、十四部 ノースドリーム R D ロイレイン キヤミー E T号などの上位入賞牛を飼養し、乳牛改良を熱心に取り組んでいます。岩田さんより、今の採用内容や交配種雄牛（ゴールドチップやアトウッドなど）を説明され、飼養している雌牛（レッドライナー、アトウッドなど）を紹介から血統の重要性や今後の改良方向について話され、会員は熱心に聞いていました。

今回の視察は、乳製品やバイオガスプラントなど様々な事業に取り組んでいる経営や、計画的な交配による乳牛改良など今を活躍している方の話が聞け、会員にとって今後の経営の糧となる良い企画でした。



岩田 牧場 牛舎内



大成・本別合同視察  
(バイオガスプラント前)

《酪農課 小林係》

## 養老牛乳牛改良同志会

養老牛乳牛改良同志会は、管外の優良経営の視察による自分達のさらなる技術の向上を目的に研修を企画し、札幌市八紘学園の札幌牛舎を視察しました。

札幌牛舎は先生を中心に学生と管理を行っており、搾乳牛四〇頭、乾乳および子牛を含めて六〇頭飼育し、一頭平均乳量は九、五〇〇〜一、〇〇〇kgを搾っていました。先生より、種雄牛の選定やファミリーの紹介などをして頂きました。種雄牛の選定は特に肢蹄と乳房底面の改良を中心に行い、搾乳しやすく長命連産性に富んだ牛群が揃っていました。その中で、共進会にて活躍中のバクスター娘牛は体型に富み、高い乳房底面をしていました。それとは別に、体格得点E X九三点を持つハッコー ミツドランド スーパーサイヤー ウイスリナの娘牛も数頭残っていました。どの娘牛も母親の良い箇所の血統を引き継いでおり、被毛皮質が良く骨格が充実し、長命連産に富んでいました。他に、当農協でも使用しているアイオン、ネオなどの好体型の初産牛も数多くいました。



ハッコー ミツドランド  
スーパーサイヤー ウイスリナ  
の娘牛

八紘学園は乳牛以外にも自家生産した花、乳製品、果樹、精肉などの販売も行っており、時期になれば行列ができるほどの人気があるそうです。学生は手間暇かけて自分たちで作った物を直接販売し、喜んでくれることを嬉しく思っているようでした。



自家生産の農作物販売所

乳牛一頭一頭に手間をかけ、一産でも多く分娩することが農場全体の利益に繋がっていることを実感できました。

《酪農課 中條係》

# 計根別農協乳牛改良連合会

11月  
21日(木)

を上映し、総評を行って頂きました。  
根室管内の牛は全体的に細い傾向にあるため、育成管理の見直しと良質な粗飼料を確保するための土壌改良が必要であると説明されました。久保牧場では、種雄牛は寛幅が広い生産能力あるものとして、シヤムロツク、スーパーサイアーなどのジェノミックサイアーやシド、ジャスパパー、ウインドブルツク、ブラクストンなどを使用し改良に努めています。



講師 久保 剛 氏

根室農業会館にて、根室ホルスタイン改良協議会主催の講習会が開催され多くの会員が参加しました。  
今回の講習は、二〇一三北海道ホルスタインナショナルシヨウ オフイシャルジャッジを務めた久保剛氏を招いて、午前に根室ホルスタイン種の場合、種雄牛選定および飼養管理技術のポイント、午後二〇一三北海道ホルスタインナショナルシヨウのDVD

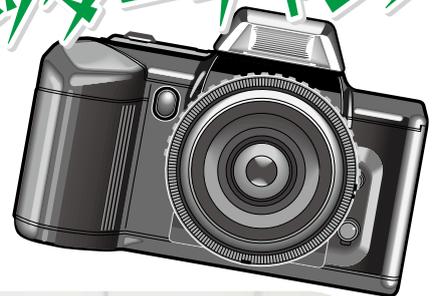
次に、共進会でのポイントとして全道の反省を踏まえながら、リングスマナー、選畜、爪切りおよび哺育管理などの紹介とアドバイスをを行い、今後に向けて活躍できる牛について様々な討論をしました。  
講習を通して、次年度もより一層、根室管内の乳牛が数多く活躍できることを期待したいです。

《酪農課 小林係》



講習風景

## 今月のシャッターチャンス



吉田和弘の人生の計画書作成  
吉田君結婚の時期はいつにしますか？  
いつでもOKですが!!  
何言っちゃったんの？  
彼女も貯金もないくせに!



そうだった!  
ほくは一人ぼっちだった:  
なぜだろう?こんなにバツチリ  
二重のほくがモテないはずがない!!  
そうだ!女の見る目がないんだ!!



吉田君もう一度言うよ!  
バツカじゃねくの!!!!

# 計根別地域 キャラクター決定!

この度、J A 計根別組合員の皆様、また市街住民の皆様に応募の呼びかけをしていただいた計根別地域キャラクターが決定いたしました。

応募総数五十九通と多数の案をおよせ頂きありがとうございます。

先日行われた、青年部員による人気投票と計根別地域活性化実行委員会による最終選考の結果、最優秀賞一名と、優秀賞四名が決定致しました。

最優秀賞に選ばれた、みるふ〜ちゃんは、今後制作し、皆様にお披露目したいと思います。

募集期間が短い中、小学生から一般の方まで多数のご参加ありがとうございました。

《計根別地域活性化実行委員会 委員長 久保 拡張》



最優秀賞

みるふ〜ちゃん

花岡 如恵さん



優秀賞

ケネちゃん

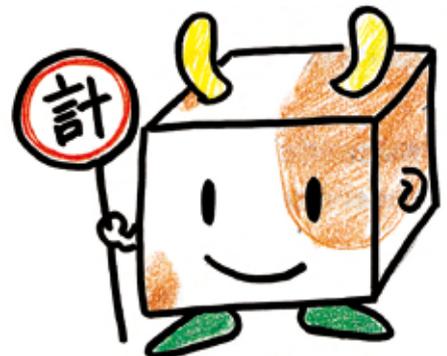
永利 百合子さん



優秀賞

ケネモー

坂地 いおりさん



優秀賞

けねっぴ

大石 裕希子さん



優秀賞

ごじごじっかん

蠣崎 友莉さん

# 平成25年産牧草サイレージの特徴と給与上の留意点について

平成24～25年の粗飼料分析値から、本年産サイレージ品質の特徴をまとめましたので参考にしてください（根室管内、水分65%以上の1番草グラスサイレージで集計）。

## 1. 収穫は順調で適期刈りが増加

今年の1番草生育は出穂始し出穂期で昨年より3日早く、収穫作業も収穫期〜終でも昨年より3日早く、順調に進みました。収穫時の生育期節では出穂期収穫の割合が増え、開花期収穫の割合は減っています（表1）。

表1 生育期節毎のサンプル割合

生育期節	サンプル割合 (分析点数)	
	H25	H24
出穂期	38% (98)	35% (529)
穂揃期	56% (146)	53% (814)
開花期	6% (15)	12% (181)

## 2. 水分%は高めの傾向

水分は全体を通じて昨年より高めの傾向です。収穫時期別が遅くなるにつれ、水分80%以上のサイレージ割合が高くなっています（図1）。

高水分サイレージの場合は採食量と水分率を把握し、乾物摂取

量が不足しないようにしましう。

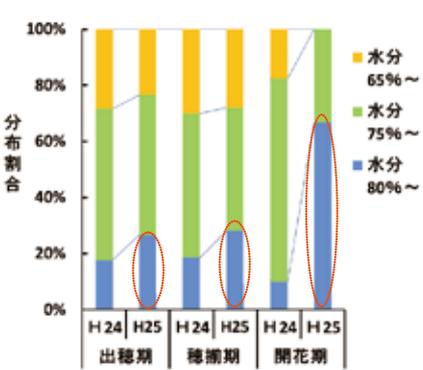


図1 収穫時期別の水分傾向

## 3. NDF%が高いものは少ない傾向

NDFの平均値は昨年とあまり変わりませんが、NDFが極端に高いものは少ない傾向です（図2）。

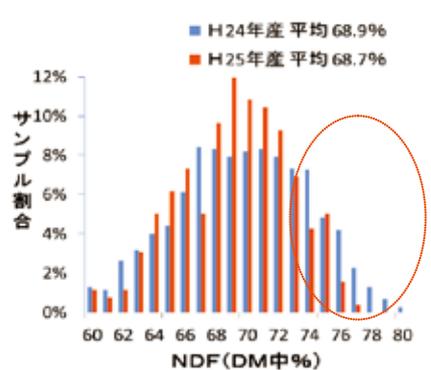


図2 NDFの傾向

NDFが高い飼料は採食量が制限されるため、一部をビート

パルプなどで置き換えるなどの対策が必要となります。また、掃き寄せ回数を増やすなど、牛が常に食べられる環境づくりを心掛けましょう。

## 4. TDN・CPPともばらつき少ない

TDNについては、極端に低いものが減った反面、60%以上のものが1割以下と、栄養価の高いサイレージも少ない傾向です（図3）。

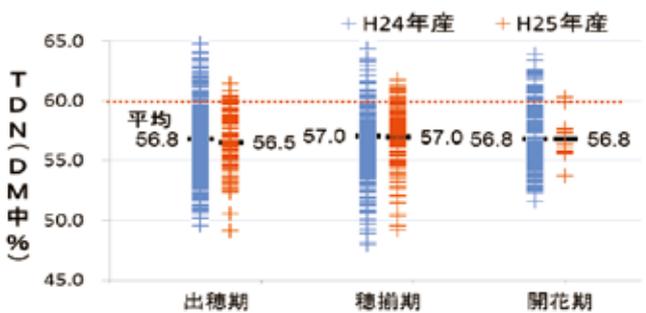


図3 収穫期別のTDN値分布

CPも平均値では昨年並ですが、極端に低いサイレージは少なくばらつきが少ない傾向です

（図4）。TDN・CPが低めのサイレージ給与する時には、乳量・乳成分や牛の反応を見て、配合飼料等の増給も検討してください。

## 5. 我が家のサイレージ品質を把握

乳牛の栄養充足・バランスへの対応には粗飼料分析が必要です。サイロ開封後は、速やかに粗飼料分析に出すように心掛けましょう。

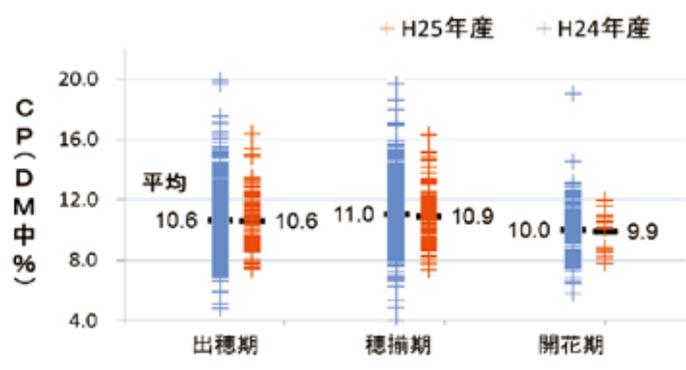


図4 収穫期別のCP値分布



# 交通安全情報No.72

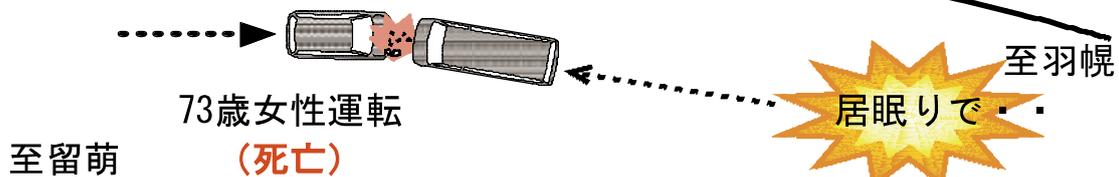
～ ストップ・ザ・交通事故 ～

平成25年12月 日  
警察本部交通部  
交通総合対策センター

## 正面衝突！死亡事故！連続発生！

～12月に入ってから死亡事故が多発！～

- ★発生日時：12月9日（月）午後4時10分ころ
- ★発生場所：留萌郡小平町（国道232号）
- ★事故態様：普通貨物車が対向車線にはみ出して正面衝突



- ★発生日時：12月10日（火）午前11時20分ころ
- ★発生場所：十勝郡浦幌町（国道38号）
- ★事故態様：普通貨物車が対向車線にはみ出して正面衝突



# 居眠り、脇見運転は死亡事故直結！

## しっかり前を見る！眠気を感じたら迷わず休憩！

《平成25年交通安全年間スローガン「いそぐほど きけんは近くに やってくる」》

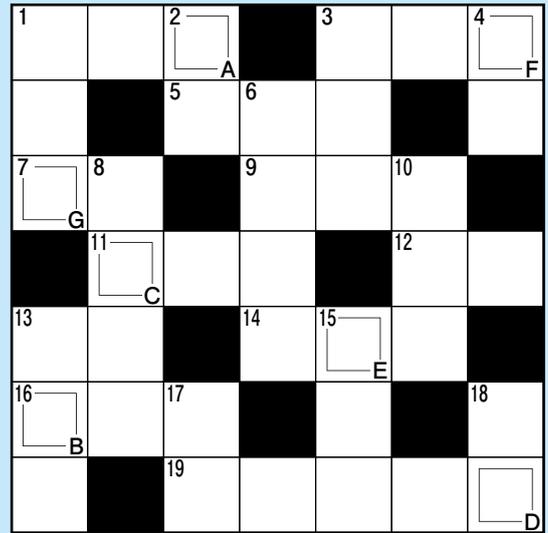
### 【タテのカギ】

- 1 今年こそ毎日書こう、と元旦からスタート
- 2 針の穴に〇〇を通す
- 3 春、中国大陸天空を覆い日本にまで及ぶ砂塵
- 4 千年生きるという長寿の象徴の鳥
- 6 大きな視野で大所〇〇〇〇から
- 8 「喧嘩せず」といわれる人たちです
- 10 巧みな手腕や手法、テクニク
- 13 一番でテープを切ります
- 15 掃き掃除に使います
- 17 上司に仕える人々
- 18 〇〇フィズに、〇〇トニック

### 【ヨコのカギ】

- 1 階段をのぼって上がりま
- 3 一度入ったらなかなか出られない暖房家電
- 5 船や航空機で海外へ行くこと
- 7 沸騰と蒸発、昇華を含めることも
- 9 月でモチをついている動物といえば？
- 11 仕事始めに新年の挨拶、〇〇〇回り
- 12 凧揚げ、羽根つき、〇〇まわし
- 13 「〇〇を洗う」— 多人数の雑踏する様子
- 14 天気〇〇〇は当るでしょうか
- 16 埼玉県西部の市。盆地の中心、銘仙、セメント
- 19 台所や浴室に取り付けてあります

## クロスワードパズル



- 正解者5名の方にすてきなプレゼントをさしあげます。なお、正解者多数の場合は抽選とさせていただきます。
- 《応募方法》左下の点線の部分を事務所内（販売機横）の投書箱へ。または、組織広報係までFAX（78-2556）お願いします。
- 《締め切り》平成26年1月20日まで
- 12月号、1月号の当選者の発表は広報「けねべつ」2月号誌上



きりとり線

## クロスワードパズル

住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

答え  

A	B	C	D	E	F	G

ご意見をお寄せ下さい。(季節の便りなど何でもけっこうです)

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

きりとり線

## 12月号抽選の延期

皆様、明けましておめでとうございませう。いつもJ A けねべつ 広報をご覧いただき誠にありがとうございます。

また、クロスワードパズルにも積極的に参加していただき重ねてお礼申し上げます。

さて、この度の十二月号及び一月号につきましては都合により発行期間が短くなったため、両号の抽選を誠に勝手ながら一月二十日とさせていただきます。

これからもクロスワードパズルのご参加を心よりお願いすると共に、皆様の近況や広報やJ A に対するご意見等お書き添え願えれば幸いです。

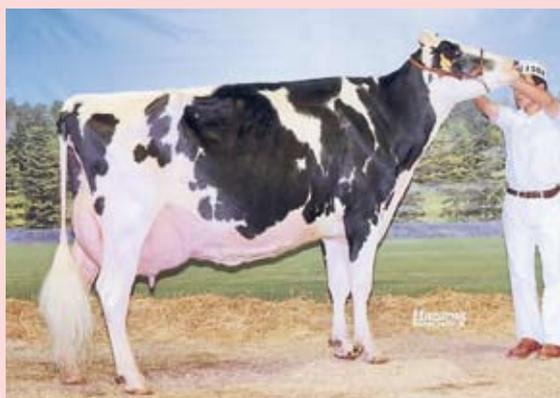
# 2013 COW OF THE YEAR

計根別農協乳牛改良連合会の年度納めの事業が12月18日に中標津マルエー温泉にて、来賓を含め57名が参加し、本年度も盛会に開催されました。

さて、例年開催しております『COW OF THE YEAR』ですが、今年一年を振り返りまして、各共進会で活躍されました未經産6頭・経産牛7頭をノミネートさせて頂きました。出席者からの投票の結果、以下の通りとなりました。

また、今年の年間活動に係るクイズを同志会対抗で取り組んで他地区との交流を図りました。  
《酪農課 星野》

## 2013 COW OF THE YEAR 経産牛の部



ノーズヒル ジャーナリスト ウイン ET  
H19.03.28生

父 ブレイデール ゴールドウイン  
母 ノーズヒル ジャーナリスト ダーハム

### 平成25年

2013北海道ホルスタインナショナルショウ  
第15部 成年クラス 1等賞2席(2BU)  
第50回 計根別農協畜産総合共進会  
第11部 5歳・成牛クラス 1等賞1席

## 2013 COW OF THE YEAR 未經産の部



ケネカランド ジョイフル FC アレックス  
H23.08.04生

父 ゴールデンオークス アレキサンダー  
母 ケネカランド ジョイフル FC エル

### 平成25年

第50回 計根別農協畜産総合共進会  
ジュニア・リザーブチャンピオン  
H25 根室B&Wショウ  
第6部 未經産シニアクラス 第3位

